

上峰町 舗装長寿命化修繕計画



令和 6 年 4 月改訂

上 峰 町

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1. 1 管理道路の現状
- 1. 2 舗装修繕予算の現状
- 1. 3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2. 1 舗装管理の基本方針
- 2. 2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2. 3 管理基準
- 2. 4 点検方法・点検頻度
- 2. 5 使用目標年数（分類Bの道路）

3. 計画期間

- 3. 1 計画期間
- 3. 2 計画期間内の修繕費用の見通し

4. 対策の優先順位（修繕計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施期間

- 5. 1 診断結果
- 5. 2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1. 1 管理道路の現状

○管理延長と舗装延長

本町が管理する道路は総延長約81kmあり、その9割以上が舗装された道路となっています。

町内の道路は町の発展とともに交通状況の変化や経年劣化などにより、舗装の早急に修繕が必要な箇所が年々増え続けています。

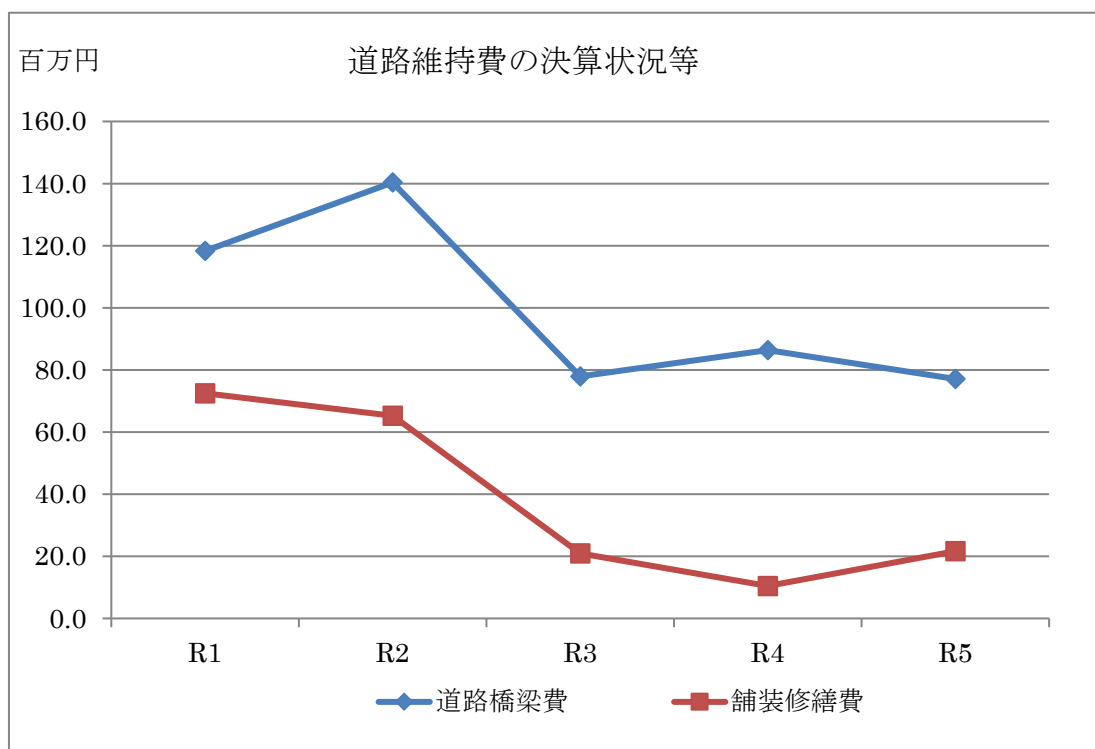
しかしながら、舗装の老朽化の進行に対し、修繕などの維持管理が追いつかない状況となっています。

令和6年4月現在

道路区分	管理延長 (m)	舗装済延長 (m)	舗装率 (%)
1級町道	4,395	4,395	100.0
2級町道	11,728	11,349	96.8
その他町道	65,174	63,081	96.8
計	81,297	78,825	97.0

1. 2 舗装修繕予算の現状

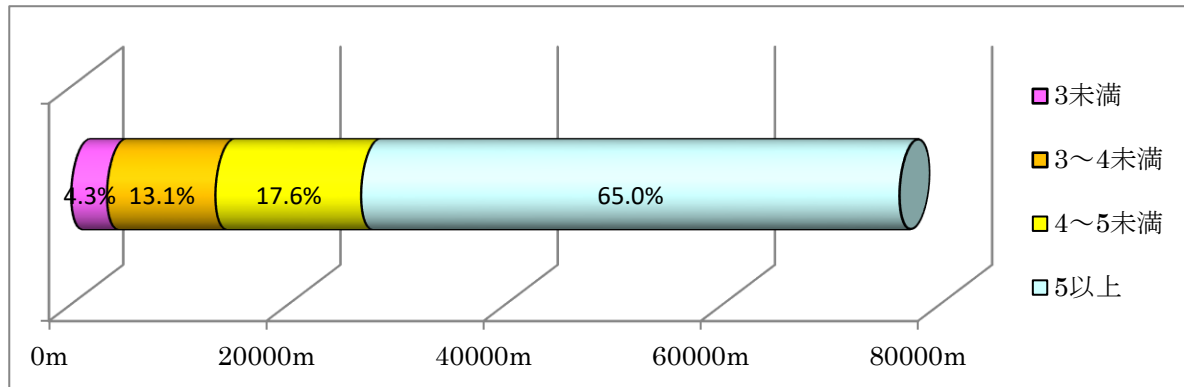
舗装修繕に係る予算は、計画作成当初から修繕が進捗していることに伴い、減少傾向となっています。



1. 3 舗装の現状

これまでの路面性状調査の結果や修繕等を反映したMC I 評価は、下記のグラフのとおりであり、約半数の管理道路において修繕等が必要とされています。

【 管理道路のMC I 評価グラフ 】（令和6年4月現在）



MC I 評価による舗装修繕基準

MC I 値	舗装修繕の判断	診断結果
MC I > 5	望ましい管理水準	区分Ⅰ
4 < MC I ≤ 5	修繕を行うことが望ましい	区分Ⅱ
3 < MC I ≤ 4	修繕が必要	
MC I ≤ 3	早急に修繕が必要	区分Ⅲ

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2. 1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、舗装道路の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2. 2 管理道路の分類（グループ分け）

大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分 類	対 象 道 路
分類Cの道路	1 級町道、2 級町道
分類Dの道路	上記以外の道路

2. 3 管理基準

下記の基準を標準的な指標とし、M C I 値などの複合指標を用いるなど道路の特性に応じた効率的な修繕を実施する。

ひび割れ率	わだち掘れ量	I R I ※
40%	40mm	8mm/m

※ 国際ラフネス指標

2. 4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類 C の道路	目視点検	5 年に 1 度
分類 D の道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

2. 5 使用目標年数（分類 B の道路）

○分類 B の道路：該当なし

3. 計画期間

3. 1 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、5 年とする。

3. 2 計画期間内の修繕費用の見通し

診断結果を基にした修繕費用を以下のように見通し、優先順位を定めることにより計画的な修繕を行い、修繕費用の平準化を図る。

また、今後の点検結果や社会情勢等により、実施時期の再検討を行うなど効率的な修繕を実施し、費用縮減を図る。

（単位：百万円）

令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
9. 2	10. 0	15. 0	15. 0	12. 0

4. 対策の優先順位（修繕計画の方針）

・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

本町では、平成25年度及び令和元年に実施した路面性状調査結果、路線の重要性や交通量等を考慮・判断し、舗装修繕等の維持管理を行います。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5. 1 診断結果

平成25年度及び令和元年度に点検した76.2kmにその後の修繕や再点検等を反映した結果は以下のとおり

(延長：km)

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	計
分類Cの道路	11.1	4.8	0.2	16.1
分類Dの道路	38.4	18.6	3.1	60.1
計	49.5	23.4	3.3	76.2

区分Ⅰ：健全—損傷レベル小

区分Ⅱ：表層機能保持段階—損傷レベル中

区分Ⅲ：修繕段階—損傷レベル大

5. 2 対策内容と実施時期

○措置が必要な箇所一覧

1級3路線：約1.1km、2級5路線：約2.5km、その他72路線：約17.2km

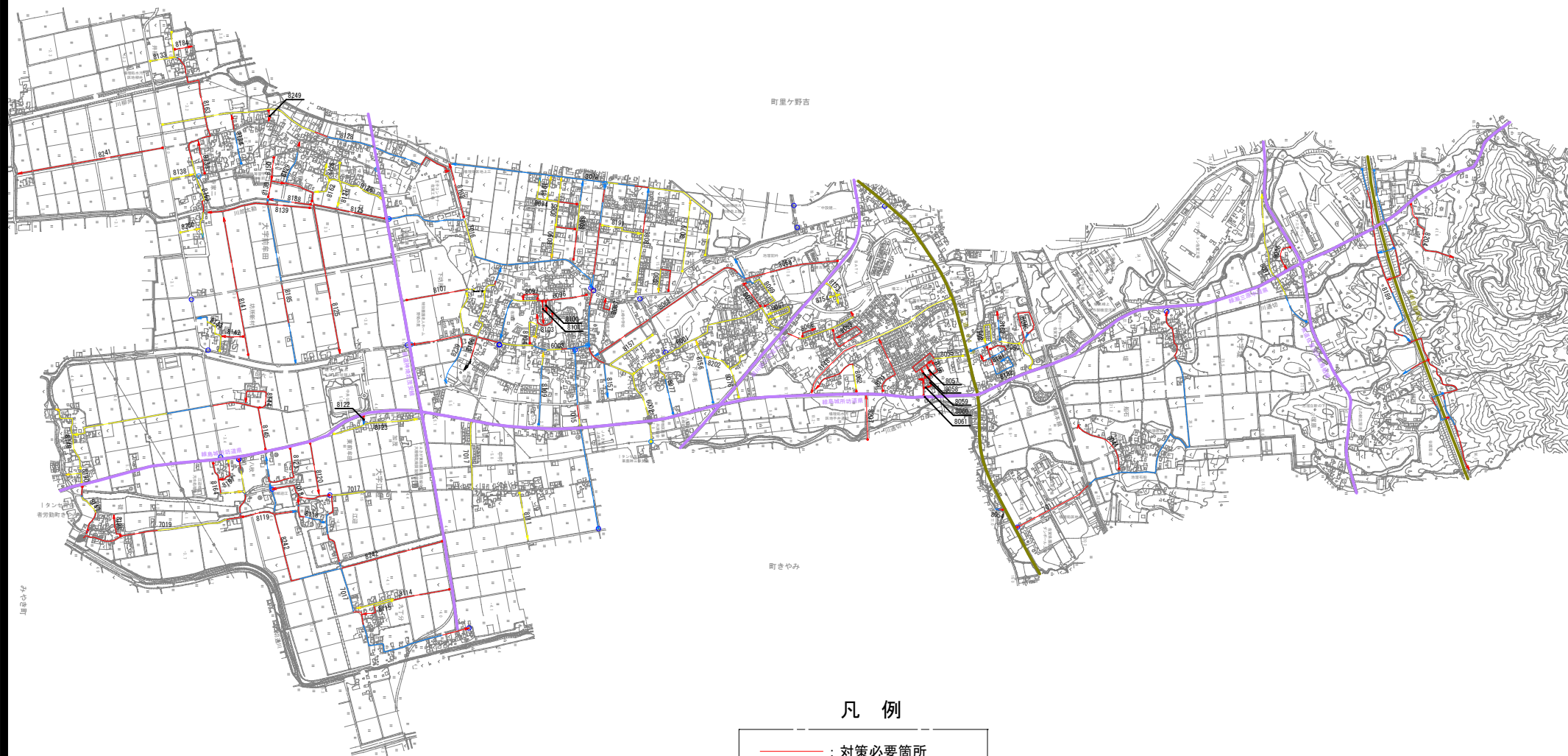
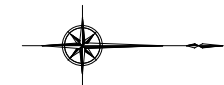
(主な路線等)

番号	分類	路線名	区分	実施 予定 延長	点検 実施 時期	診断 結果	措置内容	措置実施時期				
								R6	R7	R8	R9	R10
7011	C	舟石工場団地堤線	2級	640m	平成25年	Ⅱ(Ⅲ)	表層打換			●	●	●
7018	C	江迎八枚東線	2級	460m	平成25年	Ⅱ	表層打換		●	●		
8044	D	舟石宮前線	その他	340m	平成25年	Ⅱ	表層打換					●
8055	D	桜ヶ丘団地1号線	その他	280m	令和元年	Ⅱ	表層打換					●
8056	D	桜ヶ丘団地2号線	その他	160m	令和元年	Ⅱ	表層打換					●
8063	D	緑ヶ丘団地1号線	その他	390m	平成25年	Ⅱ	表層打換			●	●	
8066	D	北住宅線	その他	90m	平成25年	Ⅱ	表層打換				●	
8068	D	御陵坊所線	その他	1250m	令和元年	Ⅱ(Ⅲ)	表層打換			●	●	●
8071	D	下津毛住宅3号線	その他	160m	平成25年	Ⅱ	表層打換		●			
8080	D	ヤクルト住宅1号線	その他	160m	平成25年	Ⅱ	表層打換	●				
8094	D	西峰団地1号線	その他	100m	平成25年	Ⅱ	表層打換	●				
8097	D	下坊所住宅線	その他	120m	平成25年	Ⅱ(Ⅲ)	表層打換		●			
8119	D	碓江迎線	その他	270m	平成25年	(Ⅲ)	表層打換			●		
8147	D	江越碓線	その他	160m	平成25年	Ⅱ(Ⅲ)	表層打換				●	
8150	D	寺家・田辺線	その他	120m	平成25年	Ⅱ	表層打換				●	
8160	D	西峰団地3号線	その他	50m	平成25年	Ⅱ	表層打換	●				
8164	D	八枚中線	その他	160m	平成25年	Ⅱ	表層打換		●			
8187	D	八枚東西線	その他	120m	平成25年	Ⅱ	表層打換			●		
8244	D	ヤクルト住宅4号線	その他	90m	平成25年	Ⅱ	表層打換	●				

○対策必要箇所

別図のとおり

対策必要箇所位置図



凡 例

- : 対策必要箇所
- : 対策必要路線
- : H30～R5年度施工箇所